

初段、二段、三段受験における「事前レポート」指定テーマ
(2021年度中に学科審査代替措置が適用される昇格考試対象)

1. 初段(一般)

①少林寺拳法は人づくりのための「行」である
②少林寺拳法の六つの特徴
③修行の心得
④氣勢と気合について

2. 少年部初段

※10月末までの考試に申し込みをした新中学一年生も含む。

①当身の五要素
②何のために少林寺拳法を修行するの？
③修行の心得

3. 二段

①少林寺拳法創始の動機と目的(金剛禅総本山少林寺開創の動機と目的)
②拳の三要について
③鎮魂行について
④少林寺拳法の技法体系

4. 三段

①少林寺拳法の象徴と活動
②先について
③攻防の間合と機会について
④頭部、顔面、頸部の急所 22 種、上肢（手部）の急所 15 種 （「当身の五要素「急所の位置」「当身の角度」含む） ※所定の用紙に回答を記入して提出する。

【「事前レポート」作成に関する注意事項】

- ・「事前レポート」による審査は、受験までに学べき全科目が習得されていることが前提である。各所属においては、指定テーマ（3～4 題）のみの学習で済ますといった誤った認識を受験者が持たないよう指導し、レポートの作成に臨ませること。
- ・「事前レポート」はあくまでも学科審査の代替措置であり、技術審査同様に所属長が指導、確認を行い、合格に相応しいレベルに達するまで自ら取り組ませること。
⇒受験者自身が作成することが前提であり、代筆などは不合格、再試となる。
- ・学科宿題の書式に準じて作成して、『昇格考試 学科「事前レポート」表紙』を付けて提出する。（宿題とともに提出する）
⇒用紙は 400 字詰原稿用紙（A4 判【A3 二つ折り可】／横方向縦書き）を用いて、黒または青色のインク（ボールペン、万年筆など）を使用する。
※小学生は鉛筆書き可。
※三段「④頭部、顔面、頸部の急所 22 種、上肢（手部）の急所 15 種（「当身の五要素「急所の位置」「当身の角度」含む）」は所定の用紙に回答を記入して提出する。
- ・以下に注意して、人に伝える論述文としての体裁をきちんと整えて作成する。
⇒箇条書きや図表が中心となっているものは不可。
⇒指定テーマの内容を受験者が習得し理解できているかを評価するのであるから、読本からの引用ばかりのものは不可。（引用文を並び替えてつないだものも同様）
※テーマの主旨に基づいた自身の考察、説明が展開されていれば高評価とする。
- ・指定テーマに対する学習、理解が不足している内容であれば、再提出・再審査などの対象となる。
⇒再提出・再審査においても「可」の評価に至らない場合は、不合格、再試となる。